

令和8年度第1回石狩浜海浜植物保護センター運営委員会 議事録

- 1 日 時 令和8年5月22日（金）9：30～
- 2 議 題 ①「石狩浜海浜植物保護センター運営委員会」会長・副会長の選任について
②令和8年度石狩浜海浜植物保護センター事業体制及び計画について
③その他
- 3 出席者 溝渕 清彦、長谷川 理、松島 肇、西川 洋子、圓谷 昂史、鈴木 一哉、
石山 優子、鈴木 玲
- 4 欠 席 桑田 いずみ
- 5 事務局 中野（センター長）、高橋（主査）、大橋（主任）、内藤（いしかり植物ラボ）

（事務局）

おはようございます。それでは定刻となりましたので、ただいまから令和8年度第1回石狩浜海浜植物保護センター運営委員会を開催いたします。本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。当運営委員会事務局の中野と申します。会長が選出されるまでの間、進行役を務めさせていただきます。本日は一般公募で新たに選任されました桑田いずみ委員が所要により欠席となっております。今回新たに鈴木一哉委員、桑田いずみ委員にご就任いただき、再任される松島委員、西川委員、長谷川委員、圓谷委員、溝渕委員、石山委員、鈴木玲委員とともに9名体制で、令和8年4月1日から令和10年3月31日までの2年間、当センターの運営についてご審議いただきます。

（事務局）

それでは次第に沿って議事を進めてまいります。まず議題の一ですが、運営委員会の会長、副会長を選出したいと思います。事務局から会長に溝渕委員を、副会長に長谷川委員を推薦したいと思いますがご異議ございませんでしょうか。

— 異議なし —

（事務局）

異議がないようですので事務局案で決定します。今後の議事進行を溝渕会長にお願いします。

（溝渕会長）

会長の溝渕です。よろしくお願いします。今年度の事業計画の説明を事務局からお願いします。

（事務局）

石狩浜海浜植物保護センターの事業計画で、令和7年度より拡充した3点について説明

- ・常設展示の維持管理
- ・希少種イソスミレの生育状況の把握 令和7年度までの事業で、イソスミレの生育状態が悪い場所で行き取りを実施したところ、効果的な対策と判断し、令和8年度は、イソスミレの状態が悪い親船地区の4区画で、内陸性の植物の刈り取りを9月に実施
- ・ハマボウフウの生育情報の把握 2～3年に1度実施する調査で、今年度が調査時期

(西川委員)

今年は、動物の展示に重点を置くということですが、自動撮影カメラのデータもあると思いますが、どのような動物の展示を、どのような観点で増やすのか教えてください。

(事務局)

自動撮影カメラで撮影したデータについては、ホームページを作成して普及啓発に繋げています。保護センターの引き出し展示は、小さい子どもに興味を持ってもらう展示にしているので、細かい調査データを使っているわけではありません。

(西川委員)

動画をセンターでも流せませんか。

(事務局)

センターの電波が非常に悪いので、7月にセンターの展示物を図書館で見てもらうイベントを企画しており、その時スクリーンで流せたらと思います。

(長谷川委員)

何の動物を、どれ位の時間をかけて、どの程度の範囲で把握するのですか。

(事務局)

現在の調査地点は、エゾサンショウウオを調査している防風林、アズマヒキガエルを調査している名無沼、アカモズの調査地の三箇所に自動撮影カメラを設置して、生息している動物のデータを蓄積しています。

(長谷川委員)

自動撮影カメラを用いた調査は、何の動物を写したいのかで、設置の仕方も全然違います。適した環境や時期に、適した画角で設置しなければ、生息地の発見にはなりません。それなりの数も必要です。もう少し具体的に計画した方がよいと思います。

(事務局)

石狩浜のモニタリング調査では、自然保護課事業で実施している自動撮影カメラのデータを共有し、そこに映っている動物をマッピングします。例えばシカの写り込みがあると、植生にも影響があるのではというように利用しています。

(長谷川委員)

どの地点で、どういう調査を行っているのかを、どういう目的で調査しているのか、資料にちゃんと掲載した方がよいと思います。

(事務局)

長谷川委員のお話も参考に、今後改善できる部分は検討していきたいと思います。

(溝渕会長)

他にご質問はありますか。

(西川委員)

イソスミレの調査について、刈り取りでどういう効果がありましたか。

(事務局)

調査研究報告で令和7年度までのイソスミレの生育状況をまとめています。こちらに関しては、過去に市民の方が調査した、はまなすの丘の分布調査をデータ化するとともに、株の大きさ、開花状況、結実を調査しています。調査結果をもとに、令和6年度にススキに覆われて、株サイズが小さくなった区画で試験的にイソスミレの株の周囲の植物を刈り取りました。令和7年度、イソスミレは開花せず、株サイズは大きくなりました。令和8年度は開花が確認されたことから、周囲の刈り取りでイソスミレの生育が良くなったと考えられます。そのため令和8年度は、継続して令和7年度より刈り取る区画を多くして、調査を行います。イソスミレの生育環境は、ススキなどの内陸性植物に覆われた場所が増え、海側に分布を広げているわけではなく、悪化する一方です。保全対策を講じなければ、消滅してしまうという危惧があります。現時点では、調査を行っている段階で、2～3年後に結果をまとめて調査報告をしたいと思います。

(鈴木玲委員)

刈り取り以外のことも調べたり、試したりしているのですか。

(事務局)

イソスミレが生育している場所には、ススキとともに生育しているゾーン、ススキがなく海浜植物が少し多めで砂が結構飛んでくるが生育しているゾーンなどあります。イソスミレの生育に適している場所は、後者の方だと思われるのですが、砂が届かない砂丘の後ろ側の場所だと人工的に自然状況を変えることは難しいので、刈り取りという手法をとっています。センターに苗があるので、移植も選択肢の1つですが、生活史自体がよくわからない状況なので、検討の余地があります。

(鈴木玲委員)

増加している場所はないのですか。

(事務局)

「はまなすの丘公園」の先端の保護区の部分ですが、ここは他の区画に比べて株数も多く、安定していますが、親船地区の区画では、繁殖があまりできてない場所もいくつかあります。生息地の比較で、河口の部分は繁殖が確認できるので、はまなすの丘公園は、イソスミレに適しているのではないかと思います。

(内藤)

河口で3年前から実生を見ていた場所が、他の植生に覆われ陸生化が進み、逆に海側からは侵食が進んでくる状況にあります。

(事務局)

生育に適した環境を再現することが難しいです。こちらも報告書にまとめたいと思っています。

(長谷川委員)

モニタリング調査と保全対策は異なると思います。モニタリングとして調べること、保全対策としてやるべきことの、それぞれのスケジュールや枠組みが必要です。サンプリング調査や実験をしても、

それをどう保全策に活かすのかという位置づけがなければ、取組の妥当性が不明確になる恐れがあります。ちなみにイソスミレは、4区画で刈り取りをするのですか。

(内藤)

親船地区の中に4区画あり、そのうちの1区画で令和7年度に刈り取りをしています。令和6年度の9月に、無辜の民の周辺で実験的に刈り取り、令和8年度の春にほぼ全部咲いていました。令和8年度は親船の4区画のうち、2区画で刈り取りを実施予定です。令和7年度の秋に刈り取った親船の場所は、これからデータをとっていきます。

(長谷川委員)

ハマボウフウに関しては、調査の他に、保全対策としては何かするのですか。

(事務局)

ライン調査では、株数と結実を見て、生育状況が適切かどうか、結実をしているかどうか確認し、採取状況は、監視員からの報告等で把握します。対策は、声かけや注意喚起などです。

(長谷川委員)

何をどれくらい調査するのか、対策として何をするのかを中長期的に計画し、例えば何年に1度は網羅的な調査をするなど、ちゃんと計画した方がいいかもしれません。

(西川委員)

監視員にハマボウフウの調査結果を伝えて、利用者に対し、場所によって採取を制限したり、注意が必要があることを伝えられる体制がいいと思います。明確な基準は難しいですが、採取圧が高いので、今年はここはやめて別の場所に誘導するなどの対策でも、ハマボウフウが種子を作ることができれば、保全の効果があると思います。監視員にセンターのデータを提供し、利用者をうまく誘導するのがいいと思います。

(内藤)

ハマボウフウの調査手法が統一されていないのですが、過去3年の全域の生育状況は把握しているので、過去と比べて密度がどうなっているのか、わかってくると思います。過去のハマボウフウの調査については、調査研究報告の第12号で報告しています。

(長谷川委員)

一般参加が可能な調査であれば、普及啓発活動として幅が広がる可能性があります。市民参加にリスクがあれば、調査の場所を限ればよい。ラインを決めて、定期的の実施します。広範囲で、増減や分布の広がりを見るには人手がかかります。みんなで探せば、意識向上や周知になるし、さらに還元すれば参加者も多くなります。そういうモニタリング調査モデルも考えられます。全ての対象種でアクションプランを作れと言っているわけではないのですが、それぞれの調査戦略やモニタリング戦略などはあった方がいいし、参加する側にもわかりやすいと思います。

(事務局)

ハマボウフウに関しては、数年前に親子向けにイベント調査をしています。花が咲いていたら、調査用紙に丸を付けるというのをしていました。結果はセンターの活動報告として展示しました。ただ、調査時期については、広報等もあり状況により変動します。

(長谷川委員)

イベントは労力もかかるし、自分で調査した方が早い場合もあると思いますが、別の良さもあります。何年前かにハマナス等の海浜植物を見つけてスマホで入力してもらいました。同じようにハマボウフウを見つけてその場で入力してもらうという方式であれば、日を選ばずにできて、参加者も増えると思います。植物保護センターの存在意義をアピールしていく上でも、市民を巻き込める手段を取り入れるのはいいと思います。

(溝渕会長)

大変貴重なご意見ありがとうございます。長谷川委員から「すべてについてアクションプランを作れというわけではないが、調査やモニタリングの戦略はあった方がよい、参加する側にもわかりやすい」という意見がありました。そうした観点では、1-1 石狩浜モニタリング調査、3-1 希少種イソスミレの生育状況の把握、3-2 ハマボウフウの生育状況の把握に関しては単年度の計画ではなく、A4 一枚でも構わないので、中長期的な計画を作成いただくと良いかなと思います。それから別の話題になりますが、石狩いきもの WEB には、センターのサイトからすぐにいけますか。

(事務局)

市のホームページの下側のセンターのバナーの横にあります。

(溝渕会長)

センターのホームページを利用する方は、バナーを探してはいかないと思うので、センターを検索して、その中にあるとよいと思います。

(事務局)

センターのトップのところに付けるようにします。

(長谷川委員)

さっきのような小さなバナーになるなら、もっと字を大きくした方がいし、位置も変えた方がよい。

(事務局)

このインスタの横辺りに作ります。

(長谷川委員)

センターのホームページも、石狩いきもの WEB のようにできないか。

(事務局)

以前は画像とかもあったのですが、ホームページが変わり今ようになりました。今後は工夫をして、もっと見やすい形にできたらと思います。

(圓谷委員)

お客様は Google Maps をよく見ていて、ビジネス登録をすると、情報を自分たちで管理できるようになります。一般の方の情報、施設情報などの自分達の情報の両方を発信することで、来館者の増加に繋がると思います。

(事務局)

Google Maps の口コミについては実感しています。

(溝渕会長)

他にご質問はありますか。

(石山委員)

5 ページの情報発信の目的で、「市民の自主的な石狩浜の保全活動につながる情報の発信、活動の展開を図る」とありますが、具体的に何を使って、誰に発信するのかを教えてください。

(事務局)

「はまぼうふう」「いしかり生き物便り」「いしかり生きもののニュース」の3点を計画しています。「はまぼうふう」は、センターの機関誌で対象は絞っていません。「いしかり生き物便り」は回覧板で、石狩市内の年齢層が高めの方を中心に考えています。「いしかり生き物ニュース」はインスタを使って、それより少し若い方に、咲いている花や調査内容等を発信しています。「いしかり生き物便り」については、WEBのライブラリーを見られます。「はまぼうふう」「いしかり生き物便り」は状況に応じて、学校のタブレット端末にも配信するようにしています。

(石山委員)

インスタで海浜植物等に興味のない方にも、行ってみようとか、保全してみようという気持ちを持ってもらうためには、もう一工夫必要だと思います。

(事務局)

インスタは閲覧数の多いものが検索結果に表示されるので、動画でアップする工夫をしています。

(溝渕会長)

ホームページの、生物多様性情報（いしかり生きもののニュース）がインスタに見えないのですが、そこに写真や説明があればいいと思います。

(西川委員)

私は開花情報を見たいです。こんなに綺麗な花が咲いている場所なのに宣伝しないのはもったいないです。

(溝渕会長)

現状では情報があちらこちらにあるので、繋げて、まとまって見られるようになるといいですね。「センターの存在を知らないで来た」という方が多いという情報がありましたが、「知りえる情報に繋がらないままいらっシャっている」ということかもしれません。

(松島委員)

情報の速報性がなく、情報の整理も必要です。インスタの生きもののニュースも、インスタと書いてないためわかりにくいです。写真一覧は見られますが1枚1枚の写真は登録がないと見られません。僕らより上の世代は、インスタに興味のない人が多く、情報の届かない人が増えている気がします。必要な情報が取得できないと、リピーターの増加には繋がりません。

(溝渕会長)

他に確認しておきたいことやご意見はありますか。事業計画の変更もあり、本日のご意見も参考にして更新後、皆さんにお配りします。それでは事務局にお返しします。

(事務局)

長時間にわたり、ご審議いただきありがとうございました。議事録につきましては、事務局で作成し、各委員のご確認後、お配りします。ご意見につきましては、今後のセンターの運営に活かしていきたいと考えております。お気づきの点等ございましたら、いつでも構いませんので事務局にご連絡いただきたいと思います。これをもちまして、令和8年度第1回石狩浜海浜植物保護センター運営委員会を終了いたします。本日はありがとうございました。

議事録を確認しました

令和8年6月30日

石狩浜海浜植物保護センター運営委員会

会長

溝 渕 清 彦

